

日本労働組合総連合会岩手県連合会
(連合岩手) 発行人 鈴木 圭

〒020-0022 岩手県盛岡市大通1丁目1番16号
TEL(019)625-5505 FAX(019)623-1105
印刷 川口印刷工業(株)

第97回岩手県中央メーデー

対話と連帯で築く、平和で笑顔あふれる未来 真の働き方改革で、安心してくらせる社会を!



伊藤裕一実行委員長 あいさつ



議長団 須藤 開(左) 松田素子(右)



プラカードコンクール
最優秀賞 JR 総連



メーデー宣言採択
盛岡中央地協 小畑光司 青年委員長



お楽しみ抽選会

5月1日(金)県内各地において第97回メーデーを開催しました。盛岡城跡公園で行われた岩手県中央メーデーには、約700人が結集。

開会にあたり、大坪勝利副実行委員長があいさつを行い、その後議長団に松田素子さん(女性委員会委員長)と須藤開さん(青年委員会委員長)を選出しました。

主催者を代表して伊藤裕一実行委員長(連合岩手会長)があいさつし、大槌町で発生した山林火災の被害に遭われた皆様へのお見舞いと、一日も早い鎮圧・鎮火への願いを表明。また、東日本大震災から15年の節目を迎えたことに触れ、犠牲になられた方々への哀悼と、今なお困難な状況にある被災した方々へのお見舞いの意を述べました。2026春闘については、連合が「実質賃金の上昇と賃上げの定着」を掲げる中、連合岩手として本部目標を上回る賃上げ目安を設定し、取り組みを進めてきたことを報告。現在の集計では、全国、岩手ともに賃上げ率は5%台の高水準を維持していること、とりわけ地場・中小組合やパート・有期雇用労働者における賃上げの前進が顕著であることを紹介しました。さらに、各構成組織の奮闘に敬意を表するとともに、引き続き春闘を通じて賃上げの流れを定着させていく決意を表明。政治課題として、この1年間の参院選や衆院選、各地の自治体選挙にも言及。厳しい情勢の中にあっても、岩手1区での勝利や岩手2区での比例復活など、一定の成果につながったことを報告しました。あわせて、多くの推薦候補が自治体選挙で当選を果たしたことに感謝を述べ、今後も働く者・生活者の立場に立った政治の実現に向け、連携と運動の継続を呼びかけました。最後に、第97回岩手県中央メーデーを契機とし、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、運動をさらに前進させていく決意を確認。続いて、来賓を代表して岩手労働局・川又修司局長、岩手県・達増拓也知事、盛岡市・内舘茂市長、岩手労福協・金田一文紀副会長(東北労働金庫岩手県本部長)からご祝辞をいただきました。また、過日行われた衆議院議員選挙で見事当選を果たした階猛様(代理 平子圭様)、佐々木真琴様からお礼のあいさつをいただきました。

その後、「お楽しみ抽選会」や「プラカードコンクール審査発表」を実施し、「メーデー宣言」を採択。

閉会にあたり、小澤豊和副実行委員長(盛岡中央地域協議会議長)があいさつを行い、最後は伊藤実行委員長の「がんばろう三唱」で集会を締めくくりました。参加者は3コースに分かれて市内中心地をデモ行進し、第97回岩手県中央メーデーは幕を閉じました。

宮古地区

時折強い風が吹く雨のなか、宮古駅前西広場を会場に約110名の参加で「宮古地区ミーデー」を開催しました。今回は来賓として4月下旬の市議選で当選した連合推薦の3名の市議会議員からあいさつがありました。最後に実行委員長の力強い団結ガンバローで労働者の処遇改善を参加者全員で確認しました。なお、予定していたデモ行進は雨天のため中止となりました。



二戸地区

二戸市シビックセンターにて約100名の仲間が集会を開催しました。集会后は元連合総研主幹研究員の石黒生子様を講師に迎え～女性労働者の健康課題と労働組合の取り組み～と題して社会貢献講座を実開催しました。



久慈地区

久慈市観光交流センターで集会を開催し、約60名の仲間が参加しました。開会前には私たちが望むことを歌声サークルさんによる歌で誓い合いました。当日は久慈地域の雨により残念ながらデモ行進は実施出来ませんでした。



JILAF招へい バングラデシュ・ネパールチーム 岩手来県

JILAF（国際労働財団）の海外労組指導者招へい事業の一環として、バングラデシュとネパールの労働組合役員12名が、5月25日（月）・26日（火）の2日間、岩手県を訪問し研修を行いました。

25日は岩手県知事への表敬訪問、ハローワーク花巻での見学と意見交換、ポリテクセンター岩手の施設見学を実施しました。また、連合岩手役員と、各国の労働組合の活動や課題について活発な意見交換を行い、その後は国別対抗ミニわんこそば大会で親睦を深めました。

26日はキオクシア岩手において施設見学と意見交換を行い、その後、小岩井農場を視察しました。2日間を通じて、バングラデシュ・ネパールの皆さんに日本の労働事情や労働組合の役割について学んでいただくとともに、両国の労働環境や労働運動への理解を深める有意義な機会となりました。



未来をつくる、保障相談
今を守る
キャンペーン

2026年
6/1(月) ▶ 7/31(金)

こくみん共済 NEWS
0326V001

期間中に共済ショップまたは所属団体を通じて対象商品に新規加入された方へ

セルロースふきん
または
エコジパック
プレゼント!



期間中に共済ショップまたは所属団体を通じて住まいる共済のお見積もりをされた方へ

防災セット
プレゼント!



※写真はイメージです。※各店舗状況によっては、他のノベルティを対換しする場合がございます。

こくみん共済 岩手推進本部
全国労働者共済生活協同組合会 coop (岩手県労働者共済生活協同組合)

岩手県内の共済ショップ
最新の営業情報はこちらから



《 ジェンダー平等推進に向けたトップリーダーメッセージ 》

電力総連のジェンダー平等・男女平等参画社会実現への取り組み

岩手県内で働く電力総連関係産業の組合員は約1,500人で、そのうち女性組合員は約120名であり、男女比率にしますと男性92%、女性8%で特に技術系の職場で男性が多い状況になっております。

電力総連は、連合方針やジェンダー主流化、多様性などの社会情勢を踏まえ、男女平等社会の実現を目指し「労働組合における男女平等計画」と「職場・社会における“人権が保障される社会の実現”」の活動を展開することとしており、東北電力総連では、「男女が共にイキイキ」と働ける職場づくり、「イクボス文化」のさらなる浸透を目指した活動を展開中であります。

男女が自らの意思によって社会のあらゆる分野に参画する機会が確保され、お互いに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、ともに仕事や子育て・介護などのワーク・ライフ・バランスを実現し、性別に関係なく個性と能力を十分発揮することで、経済的に社会的に利益を均等に分かち合うことができる男女平等参画社会であるべきと考えおります。

連合岩手に集う皆さんとともに、ジェンダー平等・男女平等参画社会の実現に向けて活動を展開してまいります。



岩手県東北電力総連
会長 佐藤 茂生

自動車総連 ジェンダー共同多様性推進の取り組み

自動車総連では、2021年から2027年までのジェンダー共同・多様性推進計画に沿って、誰もが参加しやすい組織づくりを進めてきています。女性役員を増やすことや、立場や性別に関わらず意見が出しやすい環境づくりなど、数値だけでなく「意識」と「風土」を変えていくことを大事に、取り組みを進めています。

これまでの主な取り組みとしては、年1回の研修会を継続して実施し、性別や職位に関係なく、組合活動に踏み出しやすくなるような内容で進めています。

また、昨年は推進担当者や女性委員会のメンバーが集まり、この5年間で進んだこと、まだ課題として残ることを率直に話し合う意見交換会も行いました。女性役員が増え、制度面でも前進が見られる一方、女性管理職の少なさや、意思決定に関わる場に女性が少ないこと、長時間労働が習慣として残っていることなど、また改善すべき点もはっきりしてきています。

これからの2年間は、現行期間のまとめ期間であり、次の計画をつくるうえでも非常に大事な時期になります。現場で働く仲間の声を丁寧に拾いながら、実態をしっかり把握していくこと。そして、研修や啓発の取り組みの質もさらに高め、形だけの計画にならないよう、実際に役立つ内容に向けて取り組む事です。

多様性の推進は、特別な活動ではなく、みんなが働きやすくなるための土台だと思っています。これまでの蓄積を活かしつつ、残された課題に向き合いながら、誰もが尊重されて力を発揮できる組織へ、これからも一步一步進めていきます。仲間とともに、多様性を未来の力に変え、持続的な前進をめざして取り組みを続けていきます。



自動車総連岩手地方協議会
議長 豊嶋 昌勝

全ての組合員の協働参画による働きがいのある職場の実現

UAゼンセンは、女性組合員が約6割、雇用形態では正社員以外の組合員が約6割、その正社員以外の組合員の女性比率は約8割になります。岩手県内では、流通産業で働く組合員が多いことから、女性および正社員以外の組合員の比率がそれぞれ7割程度と高くなります。また、全国的に外国人の組合員も少しずつ増加しています。

そのため、2025年度より、担当する専門委員会を男女共同参画委員会から協働参画委員会に変更し、性別だけでなく、雇用区分、国籍や人種など、多様な全ての組合員が活動に参加・参画する力強い組織を目指して取り組みを進めています。

岩手県支部の所属加盟組合の女性役員は、県内に本部を置く21組合のうち、女性委員長が4組合、女性執行委員は14組合で選出されています。流通産業の加盟組合では正社員以外の組合員が役員に選出される組織も増えてきています。

岩手県支部では、今後もUAゼンセン本部方針に基づき、女性や正社員以外の組合員を含む全ての組合員の参加・参画に向けた取り組みを進め、様々な声を活動に反映させていきます。そして、多様な全ての組合員がイキイキと働きがいを感じながら、安全で安心して働ける職場とワークライフバランス等の実現を目指します。また、この協働参画の取り組みは、人財の確保と若者や女性の県外流出の防止にもつながると思われることから、所属加盟組合とともに全力で進めてまいります。



UAゼンセン岩手県支部
支部長 山田 清秋